

# 丸の内朝大学 PRESS RELEASE

中央行政、地方行政、企業、海外で、コミュニティづくりに取り組む関係者が登壇

## 丸の内朝大学5周年記念シンポジウム 6/3(月)開催

テーマ「学びのコミュニティが新しい時代を創造できるのか」

日時：2013年6月3日(月)16時30分～18時40分 ※19：15から懇親会

会場：丸ビルホール(千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7階) ※懇親会はエコツェリア(千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル10階)

登壇者：鈴木寛(参議院議員)／篠田昭(新潟市長)／エバレット・ブラウン(写真家・ジャーナリスト)／

栗原邦夫(キリン株式会社 執行役員 CSV推進部長、キリン絆プロジェクトリーダー、キリンホールディングスグループCSR担当ディレクター)／

古田秘馬(丸の内朝大学プロデューサー)／合場直人(エコツェリア協会 副理事長、三菱地所株式会社 専務執行役員)／

井上成 (エコツェリア協会 専務理事、三菱地所株式会社 都市計画事業室副室長)

主催：丸の内朝大学企画委員会



クラスではグループワークが多く行われる。



30代中心に幅広い属性の受講生が集まる。



社会人になってから新しい友人を得られる場。

丸の内朝大学企画委員会は、2013年度に丸の内朝大学が開校5周年を迎えることを記念し、6月3日(月)に丸ビル7階丸ビルホールにて、記念シンポジウム「学びのコミュニティが新しい時代を創造できるのか」を開催いたします。

丸の内朝大学は、都市の朝型ライフスタイル提案を目的に、朝時間の有効活用場として2009年にスタートしました。見過ごされてきた自由時間を使ったこの「学びの場」は、学びたくても学ぶ機会がなかった大人たちの可能性を最大化し、4年間で延べ約7,700人が受講するコミュニティとなっています。

幕末から明治維新の私塾に象徴されるように、学びの場は常に時代の課題と向き合ってきました。逆に学ぶことの先には常に時代の課題があります。そこへむかって集った人々の創発によって、次の時代がつけられてきました。同じ感覚、知識、気持ちをもった人が集い、学ぶ人、教える人、そして彼らを支えていく人。学びが多くの人をつなぎ、新たなコミュニティが社会を大きく変え、時代を前に進めてきました。

丸の内朝大学も、社会に出た人が興味のあることを学び、同じ興味を持つ人々と出会い、コミュニティを形成している新しいかたちの学びの場です。知見、ビジョン、モチベーションをしっかりと持った丸の内朝大学受講生は、社会の課題、企業の課題、日本全国の地域の抱える課題を、自由な発想とパワフルな行動力で解決しようとしています。

新しいかたちの学びの場がつくるコミュニティは、今後どのような可能性があるのか。  
今回のシンポジウムでは、産業、地域、行政、海外と多様な視点から展望します。

シンポジウムのあとは、シンポジウム登壇者も含む参加者の懇親会(ネットワーキングレセプション)を開催いたします。

## ▶ 丸の内朝大学とは

2009年4月開校。大手町・丸の内・有楽町エリア全体をキャンパスに、朝7時台から開講する市民大学。持続可能なまちづくりを行う丸の内から、省エネルギー化、低炭素化につながる朝型ライフスタイルへのシフトを提案し、環境配慮型行動の定着をはかっている。3カ月を1学期とし、春・夏・秋の3期開講する講座には年間でのべ約2500人が参加。各講座の開発のコンセプトは「丸の内」で「朝に」だけしか体験できないもの。30代のビジネスパーソンを中心に、年齢、性別、職業、勤務地も様々な人が学んでいる。課題解決型のクラスが多いのが特長で、地域や都市、社会全体の課題解決に取り組む受講生が多い。その活動は講座の枠を超え、自主的なソーシャルプロジェクトとして発展し、朝の定期的な学びの場を通して醸成した都市型コミュニティが、世の中にグッドシフトを起こしている。

※「丸の内朝大学」は学校教育法上の「大学」ではなく、一般社団法人などによって運営される環境配慮型行動の定着を目的とした市民大学です。

## シンポジウム開催概要

### ■日時：

2013年6月3日(月)16時30分～18時40分（19時15分より懇親会）

### ■会場：

丸ビルホール（千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7階）

エコツェリア（千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル10F）※懇親会

■定員：シンポジウム 300名 懇親会 100名 ※懇親会はシンポジウム参加者のみ

■一般参加費：シンポジウム 3,000円 懇親会 4,000円

■主催：丸の内朝大学企画委員会（以下3団体により組成）

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会／

エコツェリア協会(一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会)／特定非営利活動法人 大丸有エリアマネジメント協会

### ■プログラム

#### シンポジウム第1部：16:30-17:30 (60分)

【講演：先進事例にみる学びとコミュニティの可能性】

##### ・オープニング

会場直人（エコツェリア協会 副理事長、三菱地所株式会社 専務執行役員）

##### ・丸の内朝大学の5年間と今後のビジョン

古田秘馬（丸の内朝大学 プロデューサー）

##### ・新しい学びとコミュニティのあり方

鈴木寛（参議院議員）

##### ・企業にとっての学びのコミュニティの位置づけとは

井上成（エコツェリア協会 専務理事、三菱地所株式会社 都市計画事業室副室長）

##### ・地域にとっての都市コミュニティの進化

篠田 昭（新潟市長）

##### ・グローバル視点で見る学びのコミュニティ

エバレット・ブラウン（写真家・ジャーナリスト）

##### ・復興と企業、コミュニティ-キリン絆プロジェクト/朝大学に求める可能性と展望-

栗原邦夫

（キリン株式会社 執行役員 CSV推進部長、キリン絆プロジェクトリーダー、キリンホールディングスグループCSR担当ディレクター）

#### シンポジウム第2部：17:40-18:40 (60分)

【パネルディスカッション：2015年の課題解決のかたち】

モデレーター：古田秘馬（丸の内朝大学 プロデューサー）

パネリスト：第1部登壇者

#### 懇親会：19:15-20:30 (75分)

シンポジウム登壇者が参加。ネットワーキングレセプション。



2012年秋学期の卒業式の様子。  
毎期約1000名の受講者が修了していく。



地域が抱える問題を解決する方法を考える  
「地域プロデューサークラス」の発表の様子。  
クラス終了後も、受講生は自主的にアイデアを実現させるプロジェクトを進めている。